

羅針盤

令和元年度第2号（通算304号）

令和元年5月10日（金）発行

岡山県総合教育センター

Tel (0866)56-9101 Fax (0866)56-9121

授業と授業のつながりを意識した学習指導を行いましょ！

主体的・対話的で深い学びのある授業づくりのためには、1時間1時間で付けたい力を明確にするとともに、単元のまとまりで考えることが大切です。児童生徒に学習の見通しをもたせて、授業と授業のつながりを意識させることが確かな学力へとつながります。例えば導入では、前時までの学習を想起させて本時のめあてをもたせることや、学習の定着状況を小テスト等で確認して、つまずきの解消を図り、学習意欲をもたせることが考えられます。終末では、学びを自覚化するための振り返りや、本時で学習した内容を活用するような宿題を出し次時へつなげる等が考えられます。

「新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり 実践事例編」をご活用ください！

1時間1時間での学びの質を高める授業づくりのために、当センターが作成した「新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり 実践事例編」をご活用ください。小・中学校全教科・領域で提案しています。

① 授業づくりの視点

新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり（実践事例編）

中学校国語科

授業づくりの視点

身に付けたい力を育成するために、価値ある言語表現に着目し、考え表現できるような言語活動を設定しましょう。

「読むこと」の領域では、「構造と内容の把握」「精査・解釈」「考えの形成、共有」という学習過程における指導事項を確認した上で、単元のまとまりで授業を構想しましょう。

授業実践事例

1 単元の概要 「走れメロス」の魅力について、意見交流会をしよう【第2学年】 C読むこと
作品の魅力について、読み取ったことを知識や経験と結び付けて自分の考えをまとめ、その意見と交流することを通して、自分の考えを広げたり深めたりする単元である。

2 単元を通して育成を目指す資質・能力

知識及び技能	抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、発表したり文章表現したりすることを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。
思考力、判断力、表現力等	複数の情報を整理しながら、登場人物の言動の意味などを考え、解釈した内容や考えたことを既習の知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。
学びに向かう力、人間性等	目的や意図に応じ、内容や表現の仕方注意到文章を読み、自分で言葉を選び豊かに表現しようとする。

3 単元のデザイン 全8時間

本単元の流れ	生徒の学びの姿
単元の見通しをもつ 作品全体の内容をつかむ	意見交流会に向けて作品の魅力をもとめるといって単元全体のイメージをつかむ。 ・自分の好きな名言や名場面を選び、みんなの感想が聞けておもしろそうだ。
名言や名場面の感想を交流して自分の考えを広げ深める 【本時】	作品の中の名言や名場面を選び、理由を付けてグループで発表し、お互いに感想を交流する。 ・自分とは違う見方があり、自分の考えを広げる参考になった。 ・友達と選んだ名言とその理由を聞くことで、自分も共感できる場所があった。 ・友達の意見に感想を伝えることで、自分の考えが整理できた。
作品の魅力について自分の考えをまとめる	単元を通して学んだ作品の魅力、自分の知識や経験と結び付けてまとめ、学習して意見交流会をする。 ・友達の意見を聞き、新しい発見があって作品の魅力が自分で再考できた。 ・作品の魅力が表現するために、既習の読み方や語句を使うことができた。

○本単元における「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を支える手立て

主体的な学び	対話的な学び	深い学び
○「意見交流会」という言語活動を通して、「読むこと」の単元への見通しをもたせる。 ○学習計画表等を基に単元で学習することを確認させる。	○名言や名場面を選び、選んだ理由を付けて発表し、お互いに感想を交流させる。意見を比較したり、理由を述べたりすることで考えを深められるようにする。	○知識や経験と結び付けて、価値ある言語表現に着目し、考えさせることで、豊かな表現を示して活用させ、語彙力を養う。

②【事例】単元を通して育成を目指す資質・能力や単元のデザイン

③【事例】岡山型学習指導のスタンダード（授業5）を踏まえた本時の流れ

4 本時の展開 第4時/全8時

本時のねらい 「走れメロス」の名言を選んで発表し、感想交流を通して、自分の考えをまとめることができる。

本時の流れ	生徒の学びの姿	教師の手立て
学習の見通しをもち、本時のめあてを確認する	学習計画表で前時を振り返り、教師が例示した名言の発表の仕方を見て、本時のめあてを捉える。	主体的な学びの手立て 学習計画表と名言発表の型を例示することで、本時の見通しとめあてをつかませる。
めあて 名言について発表し、感想を交流しよう	グループ発表を通して、自分の考えをまとめていくんだな。 ・自分が発表するだけでなく友達の発表へ感想を伝えることが必要なんだな。	知能的な学びの手立て 他者の見方や考えを知り、自分の考えと比較できるように4人グループで伝え合う場を設定する。発表の際には、選んだ理由も付けて発表させる。
グループで自分の考えを発表する	4人グループになり自分で選んだ名言ベスト3を理由を付けて発表する。 ・自分と違う王様の言葉を選んでおもしろいな。 ・メロスの言葉は読み手を引き付ける力があるな。	深い学びの手立て 選んだ名言と解釈が適切かどうかを話し合ったり、語彙集を使用して、よりの確かな表現はできないかを考えさせたりする。その際、人物設定や場面展開等、優れた表現に着目して、考えように助言する。見本となる表現は称賛して、全体へ紹介する。
友達の発表に対して感想を伝え合う	発表のよかった点やその理由、新しく気付いたこと等、お互いに友達の意見について感想を交流する。 ・友達の選んだ「私も殿れ」の言葉とその理由を聞き、2人の友情の深さに気が付いた。 ・先生のアドバイスで、メロスの言葉の意味が新たに読み取れて、考えがまとまった。	④ ○名言を選び、理由を付けて発表して感想を交流できたが、作品に対してどのような考えがもてたか等について、学びの振り返りをさせる。
③ 学習内容をまとめる	まとめ 名言に着目して発表し、感想を交流することで、自分の見方や考え方が深まる	⑤ 「言葉」に着目させる支援 教師が個別に学びを見取り、丸を付けたり、助言したりして、学びを価値付けしましょう。その際「言葉」に着目して、理解させたり、表現させたりすることが大切です。
振り返りをする	振り返りをする	

生徒の学びの質を高めるPoint

自分の授業に取り入れてみましょう。

Point ①
見通しをもたせめあてを確認
単元の流れを示した学習計画表等を基に、本時の位置付けを確認しましょう。身に付ける力を意識して、何について学習するのか等、見通しをもてるようにすることが大切です。

Point ②
目的や意義を明確にした話し合い
生徒が考えを友達と比較し自分の考えをもつために、違いや理由等を伝え合う機会を設定しましょう。目的や意義を明確にし、教師がペアやグループ等の適切な形態を設定しましょう。

Point ③
「言葉」に着目させる支援
教師が個別に学びを見取り、丸を付けたり、助言したりして、学びを価値付けしましょう。その際「言葉」に着目して、理解させたり、表現させたりすることが大切です。

④【事例】主体的・対話的で深い学びの手立て ⑤支援のポイント

実践事例編の活用の仕方

■ 自らの授業力向上のために

- 日々の授業を振り返る視点として
- 学習指導案作成時の手がかりに

■ 学校全体の授業改善のために

- 校内研究や教科部会で学習指導案を検討する際に
- 授業参観の視点や協議のポイントの参考に
- 校内研究の成果や課題を検討する資料として



資料のQRコードです